

株式会社ウィルズ

成長可能性に関する説明資料

2019年12月17日

1. 企業概要p2

会社紹介
代表者紹介
役員構成
会社沿革
創業の契機
経営方針・経営理念
ビジネスモデル
提供サービス

2. 財務ハイライトp10

売上高および経常利益の推移
サービス別売上高の推移

3. カンパニー・ハイライトp12

事業概要：全ての投資家と上場企業をつなぐ
ブロックチェーン技術を活用した
“株主管理プラットフォーム”

収益構造：ストック型の収益モデル

市場環境：株主優待導入企業は過去30年間増加の一途で
今年も過去最多を更新

成長戦略：会社法改正と上場を機に
プレミアム優待倶楽部を大企業群へ展開

商 号	株式会社ウィルズ
設 立 日	2004年10月18日
本 社 所 在 地	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号 虎ノ門30森ビル
代 表 者	代表取締役社長CEO 杉本 光生
資 本 金	146,485千円
従 業 員 数	42名 (5) 臨時雇用者数 (パートタイマーを含む。) は、直近1年間の平均人員を () 外数で記載しております。
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">● プレミアム優待倶楽部、及びプレミアム優待倶楽部PORTALの運営● IR-naviの運営● ESGソリューション (統合報告書・アニュアルレポート等の企画・制作)



杉本 光生

代表取締役社長CEO

経歴

1991年 4月 株式会社リクルートコスモス（現 株式会社コスモスイニシア）入社
1992年 7月 株式会社インテリジェンス（現 パーソルキャリア株式会社）入社
1993年 4月 株式会社アイ・アールジャパン入社
1997年 4月 株式会社ストラテジック・アイアール入社
1999年10月 ジー・アイアールコーポレーション株式会社 取締役就任
2001年 4月 同社専務取締役就任
2004年10月 当社設立
代表取締役社長CEO就任（現任）

代表者略歴

株式会社リクルートコスモス、株式会社インテリジェンスでの営業経験を経て、株式会社アイ・アールジャパンに入社。その後、株式会社ストラテジック・アイアールの経営に参画し、2001年の合併による新会社ジー・アイアール・コーポレーション株式会社の取締役に就任。

2004年10月に当社を設立し、代表取締役社長CEOに就任。15年に及ぶIRコンサルティングの経験を活かし、効率的なIR活動の実現を目指してIRナビゲーションシステム（現在の「IR-navi」）を考案・プロデュース。一方、個人投資家と機関投資家との間にある投資情報格差を是正すべく、個人投資家向け株主優待サイト「プレミアム優待倶楽部」を考案し、国内上場企業に対して戦略的個人投資家向けIRを提唱。日本IR協議会メンバー。

主な著書

- 「インターネットIR戦略入門」（共著／東洋経済）
- 「新規公開・上場のためのIRコミュニケーション戦略マニュアル」（共著／中央経済社）
- 「貧血日本」（ダイヤモンド・ビジネス企画）

1. 企業概要: 役員構成

蓮本 泰之

専務取締役CFO

2001年三菱商事株式会社入社、アセットファイナンス事業、投資等金融サービスの立上げに従事。2013年より株式会社ローソンへ出向し、経営企画、金融サービスの立ち上げに従事。2016年三菱商事株式会社に帰任後、決済、ポイント、Fintech周辺の事業開発・推進を担当。2017年1月より当社へ参画。

加藤 正明

常務取締役

小柳証券株式会社（現 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）、印刷会社、IR支援会社を経て、2000年にIR、CSR、ESGソリューションの提供を行うアレックス・ネット株式会社を設立。

2018年6月より株式会社ウィルズとの経営統合により現職。

上川 博史

取締役

日興証券株式会社（現 SMBC日興証券株式会社）にてアービトラージ・ポジションの運用を担当し機関投資家をサポート。興銀証券株式会社（現 みずほ証券株式会社）を経て外資系投資顧問会社に移籍。ファンドマネージャーとしてヘッジファンドを運用。独立系IR会社にてIRコンサルタントを経て、2004年の当社創業初期より参画。

山本章代

取締役

ロンドン大学SOAS（ICC Foundation programme）修了。独立系IR支援会社を経て、2000年にアレックス・ネット株式会社に取締役として参画。PRIR（現 宣伝会議）創刊号より海外アンニュアルレポートを紹介する連載記事を担当。海外ネットワークを活かしたIRコミュニケーション支援に実績。特定非営利活動法人個人投資家協会理事。

2018年6月より株式会社ウィルズとの経営統合により現職。

宮崎 善輝

取締役

2004年アクセンチュア株式会社入社、官公庁医療領域のコンサルティング業務に従事。2007年株式会社ジェネックスパートナーズにて事業再生コンサルティング業務に従事。2010年株式会社Waqoo取締役に就任。2014年株式会社エルテス執行役員COOに就任し、サイバーセキュリティ事業の立ち上げに従事。2015年テモナ株式会社取締役COOに就任し2017年4月東証マザーズ上場。

2018年1月当社社外取締役に就任し、2018年11月より当社常勤取締役として就任。

青山 洋一

社外取締役

株式会社ビーアイジーグループ（現 株式会社エム・エイチ・グループ）設立し、1997年に日本証券業協会に店頭登録（現 JASDAQ）。2015年9月より当社社外取締役として就任。

平野 喜和

常勤監査役

株式会社協和銀行（現 株式会社りそな銀行）入行し、1992年株式会社あさひ銀行（現 株式会社りそな銀行）新丸ビル支店長に就任。2018年3月より当社常勤社外監査役として就任。

鈴木 行生

監査役

1997年野村證券株式会社取締役金融研究所長。2000年野村アセットマネジメント株式会社常務執行役員。2005年野村ホールディングス株式会社取締役就任。2007年社団法人日本証券アナリスト協会会長。2010年7月株式会社日本ベル投資研究所を設立しアナリストとして活動。2018年3月より当社非常勤社外監査役として就任。

野田 清人

監査役

2000年、網野会計事務所入所。2004年木下会計事務所（現 税理士法人木下会計事務所）入所。2008年8月税理士登録。

2017年3月より当社非常勤社外監査役として就任。

1. 企業概要: 会社沿革

2018年4月

個人株主管理システムに関する特許取得
(特許第6325152号)

2018年6月

アレックス・ネット株式会社を吸収合併

2018年9月

ISO/IEC 27001 : 2013 認証取得

2019年3月

「WILLSVote」提供開始、
「上場社長プレミアムトーク」提供開始

2019年4月

「プレミアム優待倶楽部GIFTCARD」の販売開始

2015年9月

「プレミアム優待倶楽部」をリリース

2017年1月

株式会社ウィルズへ商号変更

2017年9月

電子議決権行使結果回収方法等に関する特許取得
(特許第6203932号、特許第6203933号)

2011年10月

「株主ポイント倶楽部」をリリース

2005年10月

「IR-navi」をリリース

2004年10月

インベスター・ネットワークス株式会社を設立

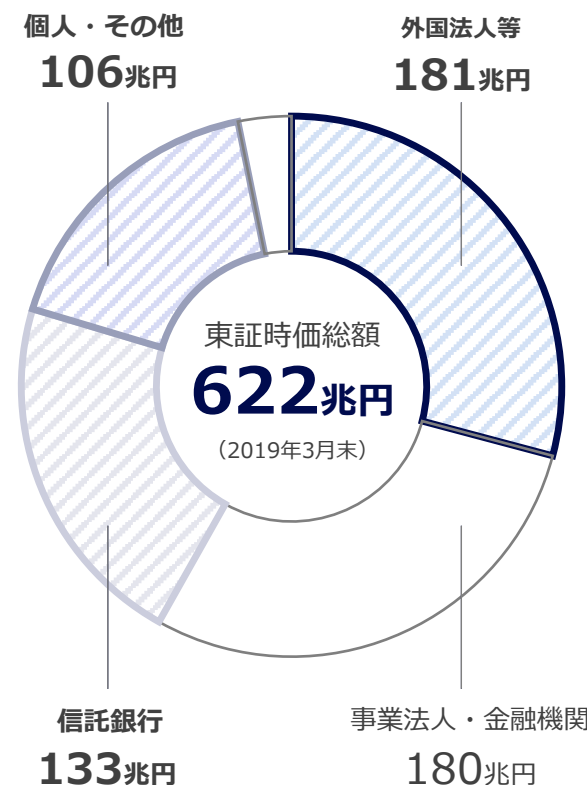
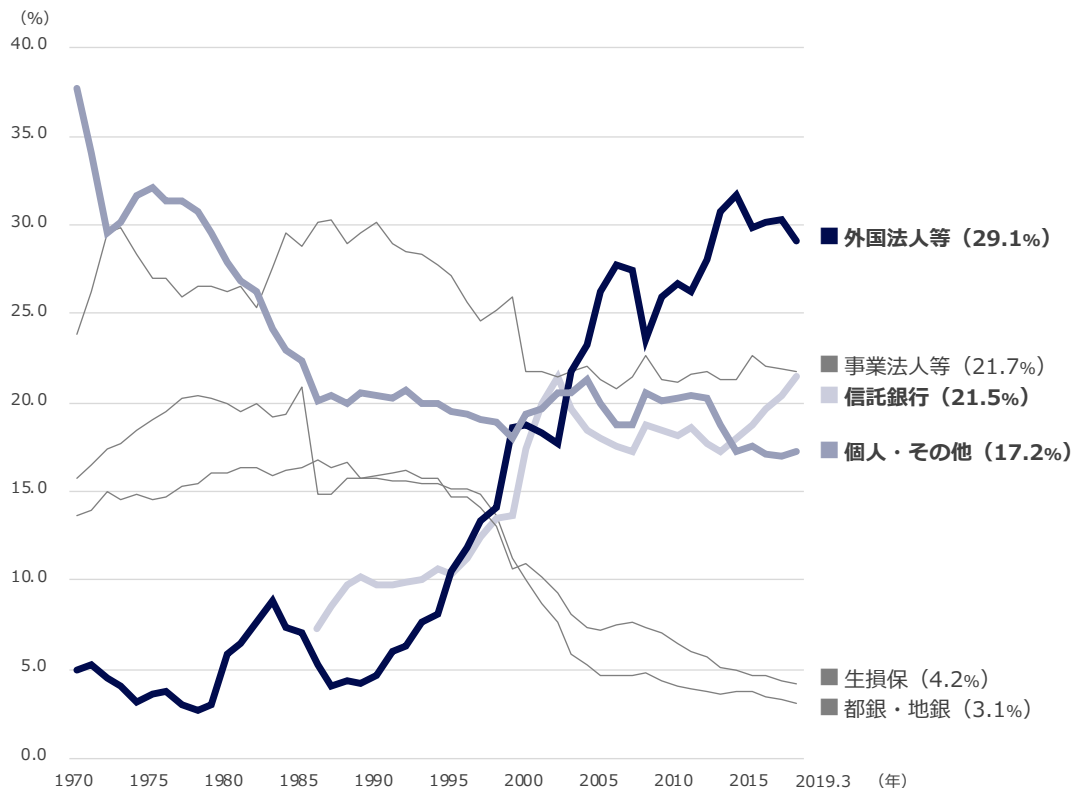
上場企業の株主ポートフォリオの最適化支援を目的として創業

投資部門別株式保有比率の推移 (2019年3月末)

- ・ バブル崩壊を経て持合株式の売却が進み、物言わぬ株主の比率が低下
- ・ 外国人投資家の保有比率の上昇・生損保の保有比率の減少が顕著

投資部門別株式保有割合 (2019年3月末)

- ・ 事業法人・金融機関の保有比率は減少傾向
- ・ 持合解消の受け皿として個人投資家に期待



(出所) 東京証券取引所 2018年度株式分布状況調査「投資部門別株式保有比率の推移」より当社作成。

(出所) 東京証券取引所 2018年度株式分布状況調査「投資部門別株式保有金額」より当社作成。

Mission

効率的な資本市場の実現と企業価値の最大化を支援



Vision

上場企業・機関投資家・個人投資家の架け橋となる
株主管理プラットフォームをクラウド※1上に形成



目指す世界

1,860兆円※2の個人金融資産を株式市場へ
～政府が支持する「貯蓄から投資（資産形成）」を支援～

※1 クラウド：アプリケーション機能をインターネット経由で提供すること。 ※2 日本銀行「資金循環統計（2019年4-6月期（速報）2019年6月末）」



※1 株管理プラットフォーム：取引先の上場企業と機関投資家及び個人投資家をクラウド上でつなぎ、インタラクティブに情報の取得・交換を行えるプラットフォームである、機関投資家マーケティングプラットフォーム「IR-navi」、個人投資家マーケティングプラットフォーム「プレミアム優待倶楽部」、顧客企業毎に異なる株主優待ポイントの合算利用を可能とするブロックチェーン技術を活用した「プレミアム優待倶楽部PORTAL」の総称。

※2 特許第6325152号

1. 企業概要: 提供サービス

サービス	プレミアム優待倶楽部	プレミアム優待倶楽部 PORTAL	IR-navi	ESGソリューション
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 株主優待商品交換サイト ● 株主構成の最適化設計 ● オンラインでの株主とのコミュニケーション ● 法定書類の電子化 ● 電子議決権行使 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各社の株主優待ポイントを「WILLSCoin」で合算 ● 株主以外も利用可能な株主優待商品交換サイト ● 3,000点超の株主優待商品 ● 株主優待情報の取得 	<ul style="list-style-type: none"> ● 100,000名以上の国内外ファンドマネージャー、アナリスト情報 ● 機関投資家の株式保有状況、投資スタイルの分析 ● メール配信、IR活動履歴 ● 電子議決権の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合報告書・アニュアルレポート、CSRレポート等の制作およびチャネル・手法も提案 ● 2019年WICI統合報告優秀企業賞、日本精工の案件で大賞、日立製作所の案件で奨励賞を受賞
技術	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド※1 ● ブロックチェーン※2 			-
提供先	上場企業	上場企業株主 ・ 一般消費者	上場企業	
ユーザー	上場企業株主			

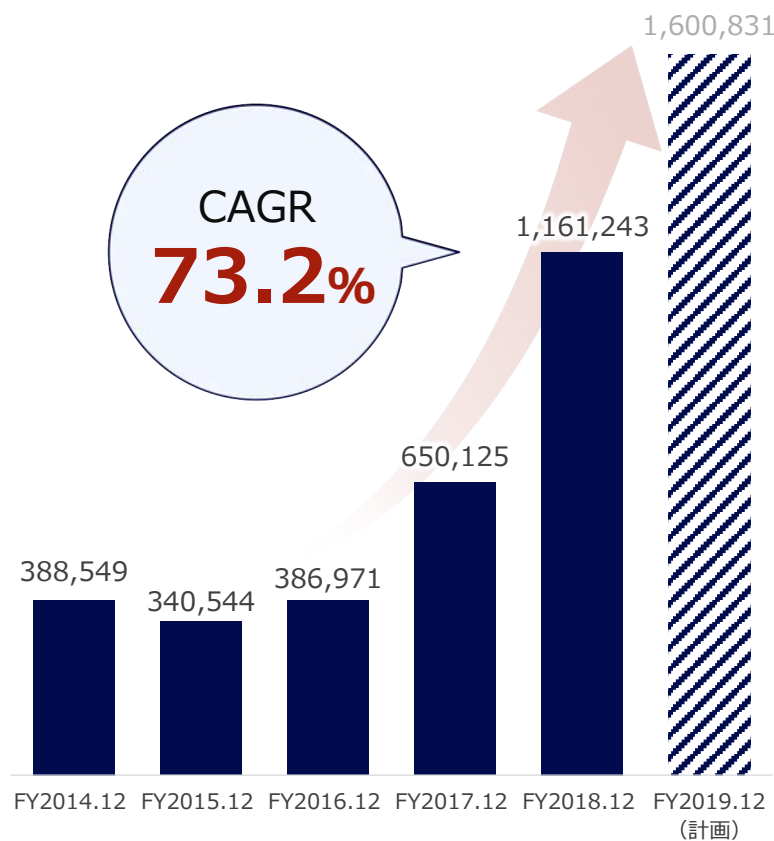
※1 クラウド：アプリケーション機能をインターネット経由で提供すること。

※2 ブロックチェーン：情報通信ネットワーク上にある端末同士を直接接続して、取引記録を暗号技術を用いて分散的に処理・記録するデータベースの一種。議決権行使の集計及び株主優待ポイントの合算、利用の記録について、データの改竄防止やセキュリティ強化を目的としてブロックチェーン技術を活用しております。

FY2016-FY2018の売上高CAGRは73.2%、 経常利益はFY2016.12を底に高い成長を継続

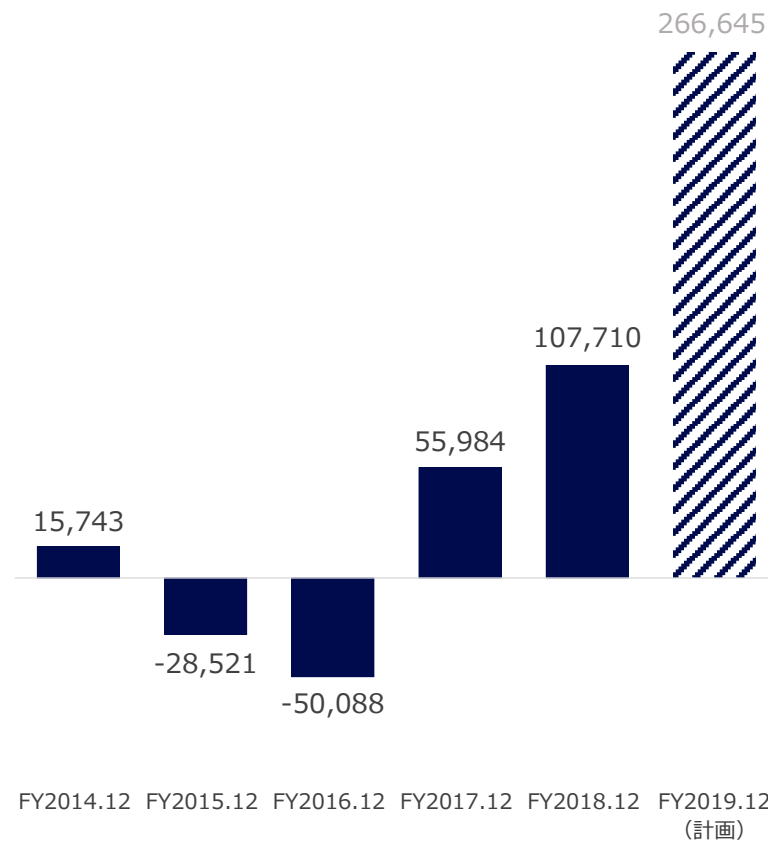
売上高の推移

(千円)



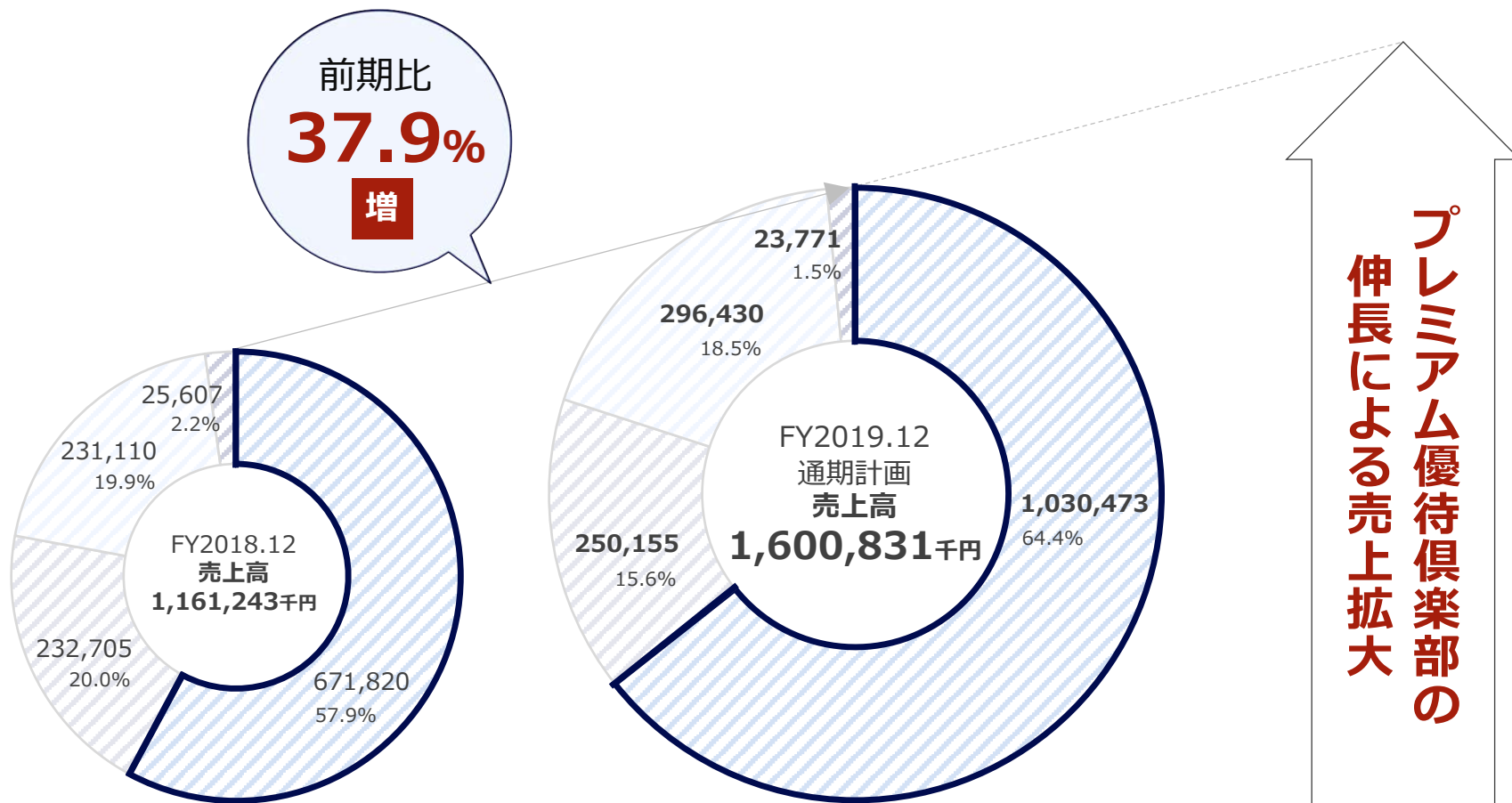
経常利益の推移

(千円)



※ FY2016.12以前は未監査

プレミアム優待倶楽部の伸長により、 FY2019.12は前期比37.9%増収を計画



(千円)

プレミアム優待倶楽部
 IR-navi
 ESGソリューション
 その他

事業概要

全ての投資家と上場企業をクラウド上で繋ぐ
ブロックチェーン技術を活用した
株主管理プラットフォーム

成長戦略

株式上場を機に、
プレミアム優待倶楽部を
大企業群へ展開



収益構造

ストック型の収益モデル

市場環境

株主優待導入企業は過去30年間増加の一途で
今年も過去最多を更新

個人株主ポートフォリオの最適化を実現



株主優待のポイント化によるメリット

- 戦略的なポイント設計による株主構成の最適化
- ポイント繰越制度による長期保有株主の創出
- 全国から集めた優待商品と交換可能
- 電子議決権行使等に対するアクションポイントの付与

株主電子化による、株主とのコミュニケーションの促進

- 株主プロフィール情報の把握
- 取得した株主のメールアドレスに向けたメール配信
- 株主へのアンケート機能
- 株主による電子議決権行使機能（WILLSVote）

※ 2019年9月末日現在

他社の株主優待ポイントを「WILLSCoin」で合算し、より高額な優待商品との交換が可能

株主優待サイト「プレミアム優待倶楽部」

プレミアム優待倶楽部では、保有年数・保有株数に応じた**優待ポイント**が進呈されます。優待ポイントはさまざまな**優待商品**と交換することができます。

※実際に付与される優待ポイント数、および交換可能な優待商品については、各社プレミアム優待倶楽部をご参照ください。



各社優待ポイントをWILLSCoinと交換

各社独自の優待ポイントを**WILLSCoin**と交換することで**優待ポイントを合算**することができます。優待ポイント同士を合算することで、**よりグレードの高い商品との交換**が可能になります。

PORTALサイト「プレミアム優待倶楽部PORTAL」

プレミアム優待倶楽部PORTALでは、商品交換時にWILLSCoinの他に**クレジットカード**もご利用いただけます。



複数銘柄の
優待ポイントを
合算する株主が
急増中

順位	WILLSCoinの残高
1	475,450WILLSCoin
2	399,200WILLSCoin
3	363,200WILLSCoin
4	301,000WILLSCoin
5	289,750WILLSCoin

優待商品の一例



高級和牛



Nintendo Switch



高級ワイン



ゴルフクラブ



空気清浄機

目的別にポイント設計を行うことで、自社に最適な個人株主層を形成

●特定単元の株主数が変化

保有株式数	投資金額	付与ポイント	利回り
100株	100千円	0pt.	0%
500株	500千円	15,000pt.	3.00%
1,000株	1,000千円	40,000pt.	4.00%
5,000株	5,000千円	60,000pt.	1.20%

一般的な株主優待では、小口株主の利回りが最も高くなる傾向があるが、「プレミアム優待倶楽部」では、**意図した単元の株主を増加/減少**させる効果を期待。

※ 左の例では、100株の株主が減少し、1,000株保有の株主が増加する。

●長期保有の安定株主が増加

保有年数	100株	500株	1,000株	5,000株
～1年 (1.0倍)	0pt.	15,000pt.	40,000pt.	60,000pt.
～2年 (1.2倍)	0pt.	18,000pt.	48,000pt.	72,000pt.
～3年 (1.3倍)	0pt.	19,500pt.	52,000pt.	78,000pt.

保有年数ごとに追加優遇ポイントを付与することで**長期安定保有の株主を増加**させる効果を期待。

●株主とのコミュニケーションを促進

株主アクションポイントの一例

- | | |
|------------------|---------------|
| 1.プレミアム優待倶楽部への登録 | 4.社長メッセージ動画閲覧 |
| 2.電子議決権行使 | 5.アンケート回答 |
| 3.株主ポスト閲覧 | 6.サイトへのログイン |

株主のアクションに対してポイントを付与することで、**会員登録やIR効果の向上、議決権回収の一手段として活用が可能。**

※ 株主アクションポイント数についても、自由に設計が可能

潜在機関投資家へ効率的なアプローチの他、議決権行使結果の管理が可能



顧客数
264社※

投資家プロフィール

- 国内運用機関 259機関
- 国内証券会社 74社
- 海外機関投資家 約9,000社

投資家データベース

- 国内アナリスト・ファンドマネージャー 約4,000名
- 海外ファンドマネージャー 約100,000名

投資家保有状況閲覧

- 国内機関投資家の保有株式数の把握
- 海外機関投資家の保有株式数の把握
- 大量保有状況のアラート機能
- 地域・エリア別の運用総額ランキング情報

投資家ターゲティング

- 国内外機関投資家の保有株式数の推移
- 同業他社比較機能
- 機関投資家別日本株運用資産の状況
- 投資スタイル別ファンド検索機能 (Growth、Value、GARP、中小型等)

IRイベント管理

- IRカレンダー機能 (決算説明会、IR-meeting、個別取材対応等の管理機能)
- 投資家プロフィール検索 (ファンドマネージャー、アナリストの連絡先、メールアドレス等)
- 一斉メール配信機能
- 投資家面談履歴の管理機能

株主管理

- 株主の電子名簿管理機能 (住所、電話、e-アドレス、年収、運用資産額、職業等)
- 株主向けアンケート機能
- 株主ポストへの法定書類及び議決権行使書の配信機能

※ 2019年9月末日現在

2018年6月に、統合報告書などを企画するアレックス・ネット株式会社を吸収合併

当社がサービス提供した企業は、WICIジャパン（知的資産／資本やKPIの開示改善を目指す国際団体（世界的資本・知的資産推進構想）の日本組織）による統合報告優良企業賞の同時複数受賞など国内外多数の賞を受賞。

株式会社タカラトミー

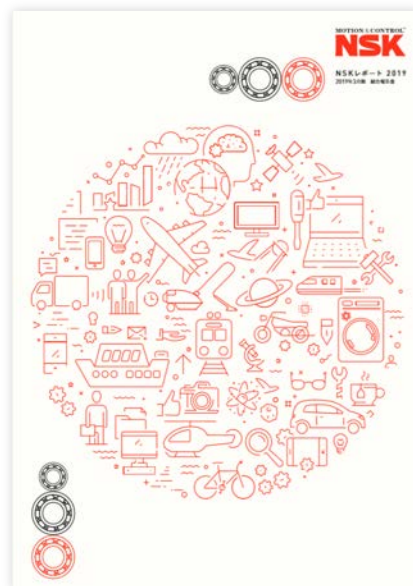


2019年WICI
統合報告優秀企業賞

大賞



日本精工株式会社



株式会社日立製作所



2019年WICI
統合報告優秀企業賞

奨励賞



MS&AD インシュアランスグループ ホールディングス株式会社

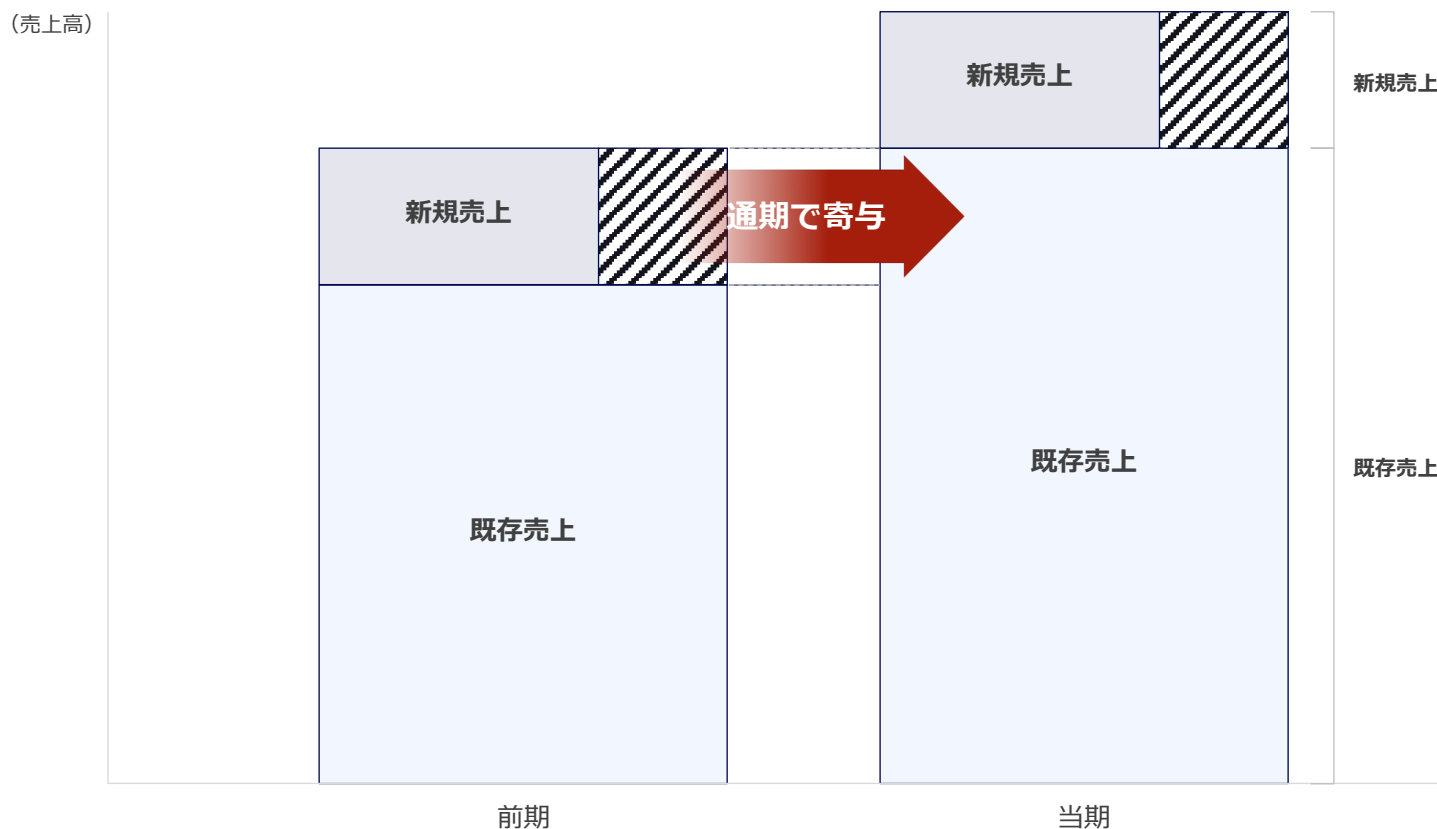


日経アニュアルレポート
アワード2018

グランプリ

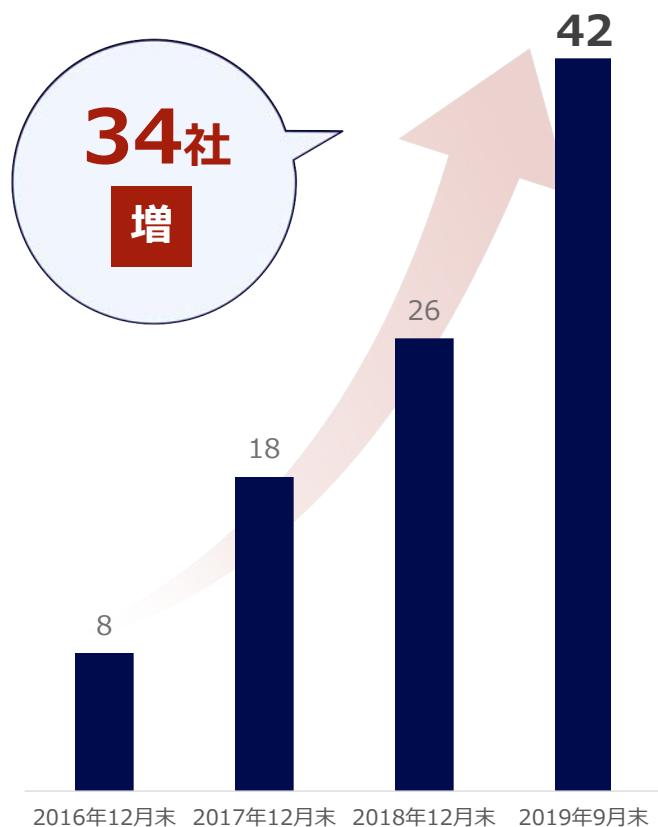


前期の期中で契約したシステム及びポイント利用料は、
当期において1年分通期で計上



株主優待制度導入企業は過去30年増加の一途で、 上場企業数自体の増加も期待

プレミアム優待倶楽部導入企業数



株主優待制度導入企業数

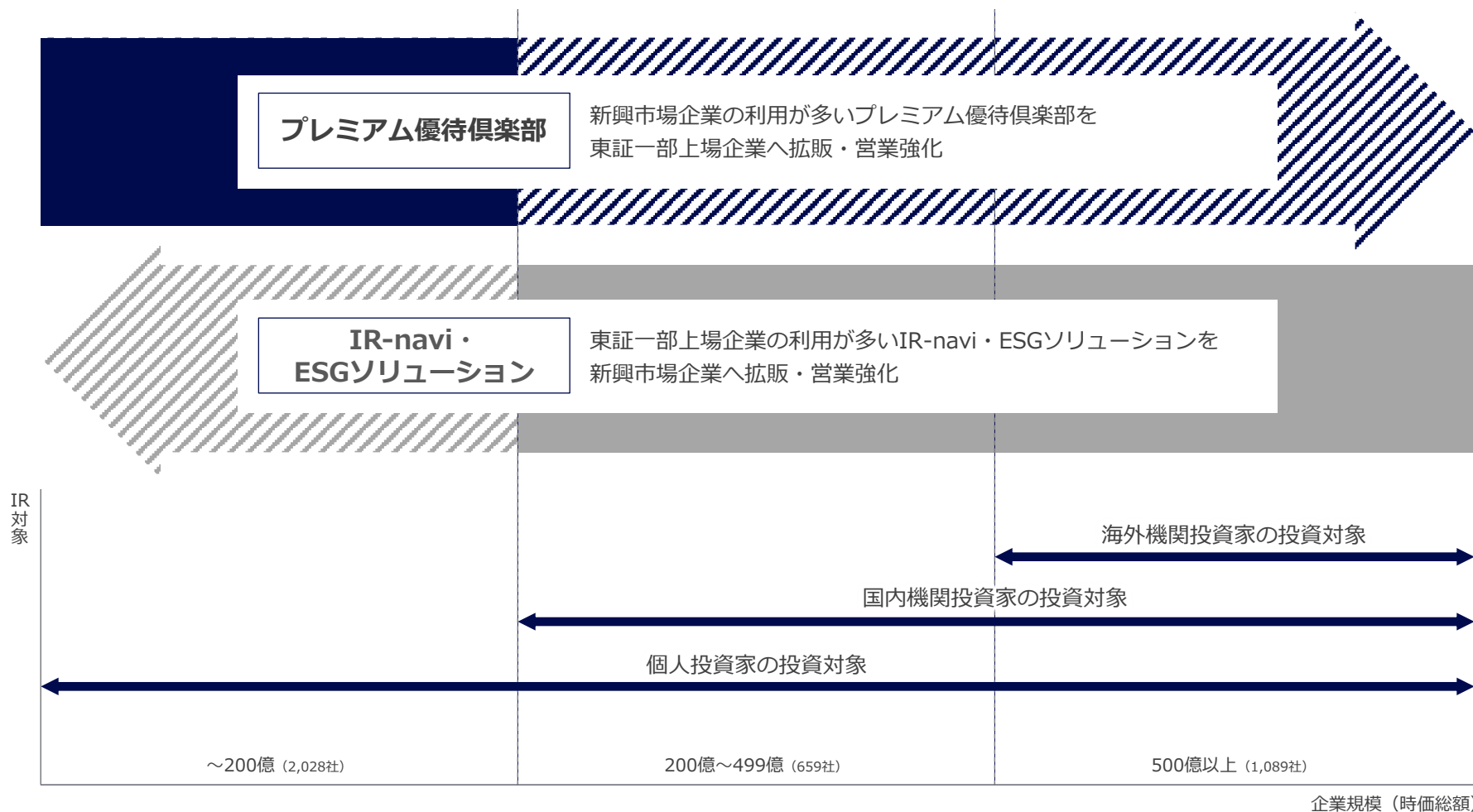


今後予定される会社法改正を機に、 招集通知の電子提供、電子議決権に対する需要拡大を期待

- 事業報告書、招集通知等の法定書類の発送、印刷にかかる総コストは500億円程度 (当社調べ)

	プレミアム優待倶楽部〈デジタル〉	従来サービス〈アナログ〉
電子版法定書類	○	×
電子議決権行使	○	×
電子アンケート	○	×
株主プロフィールの分析	○	△
株主とのコミュニケーション	○	×
コスト削減	郵便代金がかからない	毎年、郵便代金がかかる (500~1,000円/通)

プレミアム優待倶楽部は、株式上場を機に 時価総額500億円以上の大企業群にも拡販を計画



※ 上場企業社数は2019年9月末日時点。東京証券取引所以外の地方証券取引所上場企業も含む。

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っている今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

